



エコジン vol.3
2007年11月号

アートディレクション+デザイン
Tattaka、泉沢備花 (Bit Rabbit)

cover撮影
トビタ テルミ

アイスのカップに草花を活ける。
カタチのかわいいものはすべて花器に使うという、
かわしまよう子さんの暮らしの工夫だ。

エコジン

11月号
[エコジン]
Vol.3 Nov. 2007

CONTENTS

03	エコジン・インタビュー 小林崇 「木の上の自由。」
06	特集 ものを大切に暮らす。
16	海外エコ事情
18	特集2 国立公園の新しいカタチ
22	エコ・ジャーナル
24	エコ百科 「アスベスト健康被害救済制度」
26	エコジン・レポート 「若者たち。」
32	エコジン・アイ
33	エコ生活のもと
34	エッセイ 大江戸エコ帖 第三回 「江戸のリサイクル」 文/石川英輔
35	エコモノ

北海道から沖縄まで、
各地で「木の上の家」を創りつづけている、
ツリーハウスクリエイターの小林崇さん。
樹上の彼の目には、
はたしてどんな風景が映っているのか——。

写真/かくたみほ

小林崇

木の上の自由。



ツリーハウスは、既存の枠の中では捉えられないもの



風に揺れる木の上で、一瞬、足がすくむ。しかし次の瞬間、日常から少しだけ浮遊したような、不思議な解放感に包まれる。小林崇さんは言う――「僕にとって、ツリーハウスは束縛されない自由な生き方の象徴なんだ」。

小林さんは、日本における、ツリーハウスづくりのパイオニア。北海道から沖縄まで、これまで手がけたツリーハウスはすでに約30棟にもなる。しかし彼は、決してプロの建築家を目指していたわけではない。若いころは、バイトでお金を貯めては、世界各国を放浪。やがて原宿のアパートの2階でカフェや古着屋などを経営するようになるが、本当に自分のやりたいことを見出せないでいた。「原宿みたいな街って、自然とは違い、消費活動のど真ん中じゃないで

すか。日本全国から若者たちが、地方には無い「何か」を求めて集まってくる。スタイリストやモデルになれるのはほんの一握りで、あとの子たちは、買い物しても、お洒落しても、なんか満足してない。彼ら相手に古着屋やっていて、なんだかちよっと空しくなったんだよね」

そんな時、ふと店の窓の外を見ると、一本のヒマラヤヤシギが立っていた。「この木を店の中に囲い込んでしまったら面白いかも」。小林さんは、そんな単純な思いつきから、まったくの独学でツリーハウスを作りを大々しく自然へと開かせてゆく。

「ツリーハウスは、風が吹けば揺れるし、雨が降ると雨漏りする。木というやっかいな生き物を室内に取り込んだことで、これまで感じなかつ

たものが心の中に入ってきた」

都市の真ん中で自然に目覚めた小林さんの人生は、その後、ツリーハウス制作の先駆者、ピーター・ネルソンとの出会いも相まって、ツリーハウス一色に染め上げられていく。

「今の世の中って、目的までどれだけ最短で到達できるかが価値観のすべてでしょう。そんな中、わざわざ木の上で何してんの？って言われても、ホント、何も無い。遊びなんだよね。でもその無駄なことがいま、必要なんだよ」

一方、各地でのツリーハウスづくりで見えてきた現実もある。国産材の低迷に、放置林の増加……。

「日本の森が壊れつつある。林業の担い手もいないし、海外から安い木材が入ってきて、国産材が見向きもされない。過疎が進んで、山村から

は子どもたちの姿も消えている」
そこで、小林さんはツリーハウスを通じて、都市と地方を、人と自然を、結びつけようとしている。

「林業体験で下草刈りのボランティアに参加しても、やっぱり地味な作業だから、都会から来た若い子は続かないんだよね。でもツリーハウスづくりならば、みんな完成まで頑張ってくれる。その課程で彼らは『これはケヤキって木なんだ』とか『まわりの森はこうなってるんだ』とか、自然に理解するようになる。いままです漠然とした存在でしかなかった森や木が、ツリーハウスづくりを通じて、フォーカスされていくんだ」

ポップで、ファッショナブルなやりかたで、もつと自然を楽しもう――小林さんは、樹上の隠れ家から、僕らを誘惑しつづける。



右頁／今年完成した栃木県岩舟のツリーハウス。上／東京・原宿のツリーハウスサロン「HIDEAWAY」にて。ここでは、珍しいツリーハウス本やオリジナルグッズの販売、イベント開催等、ツリーハウス情報を発信している。

小林崇（こばやし たかし）
ツリーハウスクリエイター。スタイルとデザイン、感性をコンセプトに、各地の風土・樹木に適したツリーハウスを創作する日本の第一人者。オレゴンで毎年開催されるツリーハウスの国際イベントに参加、世界中のツリーハウスビルダーとの親交が厚い。ツリーハウスを大人が夢中になれる遊びと捉え、まだ見ぬ新しい木との出会いを求め国内・海外を旅している。著書にDVD BOOK『TREEDOM』。http://www.treehouse.jp

